



令和2年2月19日  
小田原市立酒匂幼稚園  
園長 向笠 弘子

立春が過ぎ、暦の上では春になりました。子どもたちの心も、1年生や年長組になる春に向かっていきます。『小学校って、どんなことをするのか？』『いろいろなことを教えてくれた年長さんに、ありがとうって何かしてあげたい。』『一緒に過ごした友達といっぱい遊びたい！』このような思いを大切に、子どもたちが考えを合わせて活動を進められるようにしています。卒園、進級まで残り1か月。一日一日、心が沢山動く経験を重ねていきたいと思います。

## 日本の伝統文化に触れて

2月は、日本の文化や伝統に触れる機会がありました。長い歴史の中で育んできた文化や伝統に触れたり、それをお家の方や地域の方と一緒に楽しむことで、より豊かな体験となっています。そして、そこに込められた思いに興味関心をもつことで、心も豊かに育っていきます。お茶会・座禅体験は保護者と教師の会のバザー収益で開催させていただきました。ありがとうございました。

節分は、季節が移り変わる節目の日。昔は、1年に4回あったそうです。日本では、立春が1年の始まりとして、特に尊ばれたため、次第に節分というと春の節分をさすようになったとのこと。そして、豆まきは無病息災を祈る意味があります。このようなことを考えると、悪い鬼を追い出して元気いっぱいの年長さんや1年生になれるようにと行った豆まきは、子どもたちの成長にとって大きな意味をもつものだと思います。



お茶会と座禅体験いかがでしたか。茶道には、東京オリンピック誘致で流行語になった『おもてなし』の心があふれています。待っていてくれる人に「お先に。」お茶を点ててくださった方に「お点前頂戴いたします。」相手の立場を考え丁寧に対応するという、生活をしていく上での大切な心があります。また、座禅には心を集中させることで、心の働きを整えることができるそうです。(一番わかりやすいたとえは、イライラしなくなる。) 子どもも保護者も職員も、進級就学という節目に、心を安定させて大切に味わっていきたいですね。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。